

月 日	発表者	問い合わせ先	
		電話番号	担当者
令和6年10月15日(火) 午後2時	関西広域連合広域産業振興局グリーン産業振興課 (大阪府商工労働部成長産業振興室産業創造課)	06-6210-9295	課長補佐 加賀城 事務官 平 川

「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」を開催します！

関西広域連合では、今後の市場拡大や関連ビジネスの創出が期待される「水素・燃料電池、蓄電池等のカーボンニュートラルに資する技術」をテーマにフォーラムを開催します。

本フォーラムでは、関西の大学・研究機関の研究成果を企業や産学連携支援機関の皆様を紹介し、シーズの事業化を促進します。

本フォーラムは、11月・12月に関西全体の脱炭素に関する取組の推進期間とした「KANSAI 脱炭素 months」(カンサイ ダツタンソ マンス)の関連イベントです。

■日時: 令和6年12月9日(月)13:00～17:40 (受付開始:12:15)

■場所: 大阪工業大学 梅田キャンパス OIT 梅田タワー 常翔ホール (大阪市北区茶屋町1番45号)
※会場とオンラインのハイブリッド形式で実施します。

■概要:

13:00～13:10	開会
13:10～14:00	特別講演 「都市ガスのカーボンニュートラル化に向けたガス業界と大阪ガスの挑戦」 大阪ガス株式会社 エネルギー技術研究所 所長付 エグゼクティブフェロー 大塚 浩文 氏
14:10～16:30	カーボンニュートラル研究成果発表 ①【水素利用/CO2回収】 「固体炭素生成から進める CO2 フリー水素生成と CO2 固定化」 立命館大学 理工学部 機械工学科 准教授 渡部 弘達 氏 ②【水素利用】 「液体水素冷却高温超電導発電機の開発と液体水素研究開発育成拠点の構築」 関西学院大学 工学部 准教授 大屋 正義 氏 ③【CO2 回収】 「食品残渣メタン発酵プロセス由来の発電排ガス浄化による炭酸ガスの農事利用」 大阪公立大学 工学研究院 教授 安田 昌弘 氏 ④【蓄電池】 「イオンのみからなる電解液を用いた高安全性かつ資源的制約のない蓄電池の研究開発」 京都大学 エネルギー理工学研究所 助教 山本 貴之 氏 ⑤【蓄電池】 「局所構造変化を利用した蓄電池(イオン2次電池)材料における伝導特性の向上」 徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 教授 中村 浩一 氏 ⑥【蓄電池】 「高速充放電性能や安全性のためのラマン分光法を用いた蓄電池の反応分布のその場観察」 地方独立行政法人 大阪産業技術研究所 環境技術研究部 主任研究員 丸山 翔平 氏

16:40～17:40

交流会(名刺交換)

■主催: 関西広域連合

■後援: 近畿経済産業局、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、
国立研究開発法人科学技術振興機構、一般財団法人大阪科学技術センター、
国立研究開発法人産業技術総合研究所 関西センター、独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿本部

■協力: 滋賀県工業技術総合センター、滋賀県東北部工業技術センター、公益財団法人滋賀県産業支援プラザ、
京都府中小企業技術センター、京都府織物・機械金属振興センター、公益財団法人京都産業21、
MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、公益財団法人大阪産業局、公益財団法人新産業創造研究機構、
公益財団法人奈良県地域産業振興センター、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学、
和歌山県工業技術センター、独立行政法人国立高等専門学校機構和歌山工業高等専門学校、
地方独立行政法人鳥取県産業技術センター、国立大学法人徳島大学、徳島県立工業技術センター、
公益財団法人京都高度技術研究所、地方独立行政法人京都市産業技術研究所、
地方独立行政法人大阪産業技術研究所、公益財団法人堺市産業振興センター、大阪公立大学、
公益財団法人神戸市産業振興財団

■参加対象: ・カーボンニュートラル関連市場への新規参入をお考えの方

- ・ 自社技術の新たな展開、技術課題の解決を図りたい方
- ・ 産学連携や企業支援を推進する関係団体の方 等

■募集人数: (会場参加) 250 名 (オンライン参加) 定員なし

■参加費用: 無料

■申込方法: 以下の URL からお申込みください。

<https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisjimu/sanshin/omonatorikumi/greenbunya/9319.html>

■申込締切: 令和6年 11 月 29 日(金)

■プログラムの詳細はこちら

○関西広域連合 広域産業振興局「カーボンニュートラル研究成果事業化促進フォーラム」

<https://www.kouiki-kansai.jp/koikirengo/jisjimu/sanshin/omonatorikumi/greenbunya/9319.html>

ー取材についてー

当日の取材は可能です。事前にお問い合わせ先までご連絡ください。

■「KANSAI 脱炭素 months」について

期間: 令和6年 11 月 1 日～12 月 31 日

内容: シンボルマークを作成し、期間中に関西圏で開催される脱炭素に関するイベントにて活用いただき、一体感を創出するとともに、関連イベントを専用ホームページのイベントカレンダーに掲載し、情報発信を行います。

HP リンク: <https://kansai-datsutanso-months2024.studio.site>

シンボルマーク

